

令和6年度 第4回 中ノ町小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月20日（水） 9時50分から11時50分まで
- 2 開催場所 中ノ町小学校 会議室1
- 3 出席委員 堀内 秀哲、齋藤 誠、佐藤 公治、瀧 幸仁、鈴木 景子、岡安 智代、鈴木 巧
- 4 欠席委員 森下 佳是、富田 仁美
- 5 オブザーバー 西澤 幸次郎（天竜協働センター所長）
- 6 学 校 河合 享子（校長）、泉澤 優光（教頭）、白鳥 直樹（CS担当教員）
飛永百合子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 飛永百合子
- 9 協議事項
 - （1）本年度の学校評価
 - （2）来年度の学校基本方針
 - （3）学校運営協議会の自己評価
 - （4）その他
- 10 会議録作成者 CSディレクター 飛永百合子
- 11 中ノ町スクールTTY活動
委員が、TTY（つくろう つながろう やってみよう）行動ができた児童に「よつばカード」を渡す時間が設けられた。
- 12 会議記録
司会の教頭から、委員総数9人中7人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。また、前回協議会の会議録確認がなされた。
次に、学校支援コーディネーターの堀内委員より、12月の学校支援コーディネーター研修会の内容について報告があった。講演で、これからの社会環境は、変化し子供に求められる力も自主性が大切だとのこと。また、他の地域の参考になる事例として、PTAOBが主体となって、家庭と結びついている仕組みが紹介された。
司会が、議長の選出について意見を求めたところ、会長の齋藤委員より立候補があり、全員これを承認した。

（1）学校評価アンケート

議長の指示により、白鳥教諭から後期学校評価アンケートについて資料に基づき説明があった。以下のような内容であった。

課題となる3項目は、「課題を解決するために工夫して、粘り強く取り組むことができましたか」「生活をよりよくするために、話し合ったり、活動したりすることができましたか」「安全に気を付けて生活を送ることができましたか」。よい行動を認めてできるようにすることで改善していく。

大石教諭から、来年度の TTY 活動について、委員会の子供が企画することとし、自主性を育てる旨の説明があった。

(2) 学校運営基本方針

議長の指示により、校長から令和 7 年度学校運営基本方針について資料「グランドデザイン」等に沿って説明があった。

白鳥教諭から来年度の教育活動として、持久走、懇談会、150 周年記念行事について説明があった。

大石教諭からは、いじめについて説明があった。

2 月にいじめアンケート「しゃぼてんアンケート」を実施した。聞き取りには工夫をしている。いじめは今年度現時点で 116 件あるが、「からかい」や「ひやかし」がほとんどである。SNS 関係のトラブルも多いが学校ではわかりにくいため、情報モラル講座に保護者も参加できるようにする。9 月 24 日に情報モラル講座を予定している。

(3) 学校運営協議会の自己評価

評価項目 1 学校運営の基本方針について熟議をすることができたか

評価項目 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか

評価項目 3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか

評価項目 4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

(1)(2)(3) について、委員からは以下のような発言があった。

- ・夏休みに学校運営協議会委員と教職員の話合いができた。先生の課題を共有し、その後の支援活動につながられた。CS だよりを発行している。地区社協こども部会で情報共有し、実際の活動につながった。来年度は 150 周年とも重なるので、学校と地域をより強固なものにしていく。保護者への理解を深め、三者の協力体制を築く。(堀内委員)
- ・学校運営基本方針はよく考えられている。それに基づいて委員が意見を考えたことが良かった。子供たちの自己評価が高くて大人が見るとまだまだ。安全な生活については、継続して取り組むことが大切。SNS については、親子教室がいじめ防止にもなっていく。(景子委員)
- ・学校運営協議会はなごやかで、話しやすい。本離れを改善するための活動として、委員の意見を学校活動に取り入れ、朝読書が増やされた。この会、熟議が生きていると思う。子供たちが委員会活動等で頑張っていることが感じられる。(岡安委員)
- ・地域、学校、保護者の協力が不可欠との共通認識が必要。保護者の理解、認識が希薄なので、保護者参加型の取組をするのがよい。職員との交流会は来年度も続けたい。(瀧委員)
- ・TTY 活動は参考になった。十分な情報発信については、学校だよりは十分でないかもしれない。様々な方法も考えたい。(佐藤委員)
- ・TTY の表がわかりやすかった。第 2 回でグループ協議をし、意見を出せたのが良かった。中ノ町教育を地域社会で考える仕組みをつくり、保護者の考えを聞いてみたい。スマホの

有効性、危険性を知ることが大切。(巧委員)

- ・学校運営基本方針に沿って丁寧に運営されている。先生と児童の信頼関係もできている。

協議会のことは、自治会に報告している。来年度は、地域との関わりをより強固なものにしていきたい。また、地域でも「よつばカード」を配布することを検討したい。(斎藤委員)

協議の結果、令和7年度学校運営基本方針を承認した。また、今年度のいじめ防止への取り組みや来年度のいじめ防止基本方針についての承認をした。

13 浜松市教育委員会より

会の雰囲気がとてもよく、活発に意見が出されていた。

その他報告事項等

教頭より、夢育やらまいか予算の6万円について、地域の人たち、スポーツ選手等への講師謝礼と「よつば」のデザインに執行した旨の報告があった。

また、令和7年度の会議は、5月15日、9月3日、11月11日、2月18日を予定している旨の報告があった。